



いんじょうふた
犬の門蓋(徳之島)

東シナ海に面した海岸一帯は、隆起サンゴ礁が長年にわたり侵食されて生まれた奇岩や断崖、洞窟、ビーチロックなど、変化に富んだ景観が続く。

第2回 自然

奄美群島国立公園誕生



1.ウドノスピーチ(与論島)：白い砂浜がゆるやかなカーブを描く、美しいビーチ。沖合ではダイビングも楽しめる。／ 2.昇竜洞(沖永良部島)：地下に広がる幻想的な鍾乳洞。鹿児島県の天然記念物に指定されている。／ 3.阿伝集落のサンゴ石垣(喜界島)：喜界島の中でも特に多くの石垣が残り、風情あるたたずまいを見せてくれる。

奄美群島全体を
盛り上げるために

平成29年3月7日、国内34番目の国立公園として、「奄美群島国立公園」が誕生しました。国立公園指定は世界自然遺産登録に向けた前提条件にもなっており、非常に重要な意味があります。

国立公園は奄美群島の8つの島で構成されています。国立公園の指定、そして世界自然遺産への登録をきっかけに群島全体を盛り上げようと、さまざまな活動が行われています。

そのひとつが、世界自然遺産奄美トレイルのコース選定。貴重な野生生物の生息する森が広がる奄美大島と徳之島、世界有数の速さで隆起を続ける喜界島、特徴的な鍾乳洞が広がる沖永良部島、ウミガメとサンゴの島・与論島など、魅力ある島々をつなぎ、その自然や文化を楽しめるコースとして、平成33年度の全線開通を目指しています。

貴重な自然を守りながら、島と島、人と人をつなぎ、その魅力を発信している奄美群島。盛り上がりを見せる島々へ、ぜひ出かけてみませんか。

